

開校 50周年



風かおる

学校 だより  
日野市立日野第三中学校  
校長 宮原 延郎  
<http://www.j-hino3.hino-tky.ed.jp/>

〒191-0042 日野市程久保 650 Tel.042-591-2228(代表) Fax.042-591-2221 Tel.042-592-2247(特別支援学級直通)

## 令和2年度 1学期始業式

人は生きていく上で、様々な対応をしなければならないことが沢山出てきます。今回の新型コロナウイルスの対応もそうです。未知のウイルスに対し、医療関係者の方は寝る時間もなく、短い時間での対応に迫られていると聞いています。高齢者、慢性疾患をもたれた方が発症すると重症化してしまいます。若者は軽症で済む人が多く、感染したことに気付かず、人に感染させている人がいるようです。自分は大丈夫だからでなく、体の弱い方を守るために、一人一人が他の人を思いやる気持ちで行動しなければならないと思います。皆さんも感染を拡大させない配慮をお願いいたします。人を思いやる気持ちは、普段の生活の中にも必要なことです。

他の人への思いやり、やさしさや配慮等は、人と人との潤滑剤になります。友達ともめ事があった時は、もめ事を無くす潤滑剤となる言動を取ることが大切です。一人だけが潤滑剤になっても、もめ事は解決しません。当事者全員、そして全校の生徒が潤滑剤となり、言動に配慮していかなければ解決していきません。一人でも行動に移さないと、そこからまた錆始め、もめ事はさらに錆を増やし、最後には全体が錆付き、動かなくなります。友達関係、人間関係の崩壊です。

この一年間、生徒の皆さんには、相手を思いやる言動を常に励行してほしいと思います。自分勝手な行動で満足するのではなく、皆が楽しく過ごせる学校、助け合う仲間になってほしいと思います。(始業式では時間短縮のため一部省略してお話しました)

## 第50回 入学式

入学にあたり、私から皆さんへ、中学校生活を送る上での私からのお願いを話したいと思います。

一つ目のお願いは、「自ら自分を成長させる」ことです。自らを成長させようと思わない人は努力をしません。努力をしないわけですから、当然、成長はありません。周りの大人や友達がいくら応援してくれても、自分自身が行わなければ、いつまでたってもできるようになりません。人とかかわりの中で自分の良さを発見し、その良さを伸ばすように自発的に行動してほしいと思います。常に少しだけ高い目標に向かって努力し、達成させながら、少しずつ自分を成長させてください。「ちりも積もれば山となる」ということわざを聞いたことがあると思います。少しずつの成長であっても、中学三年間で、大きな成長となります。日々、自らを成長させるように努力してほしいと思います。

二つ目のお願いは、「違いを認める」ことです。金子みすずさんの詩、「わたしと小鳥とすずと」は、一度は耳にしたことがあると思います。その詩の最後に、すず、小鳥、私のそれぞれの良さを見つけ、「みんなちがってみんないい」と締めくくられます。欠点を見つけ合い、そこを攻め合っていたら、けんかになってしまいます。その二人に力の差があればいじめになります。一人一人に違いがあり、様々な考え方があから楽しいのです。皆、同じであったらつまらないです。皆さんは中学校三年間で、自分とは違う考え、物事、行動などに出会います。その出会いを新たな出会いとして楽しんでください。自分とは違うと言う事での排除は絶対にしないでください。自分と違うことを排除しては自分の成長を止めることにもなります。ここにいる108名の新入生は一人一人違います。友達の良さを見つけ、お互い認め合い、素晴らしい仲間になってください。

新入生の皆さんに、二つのお願いをしました。ここにいる皆さんが自己実現するために少しずつ歩いてください。(入学式では時間短縮のため一部省略してお話しました)

